

公共空間の活用事例について 佐賀市

①対象団体

- ・市内の公共的な場所（公民館、公園、道路沿い花壇など）においてボランティアで継続的に花の植栽・維持管理ができる5人以上のグループ

②市の支援内容

- ・花壇の面積等に応じ、活動に必要な緑化素材（花苗・土など）を支給する。
（1団体あたり年間50,000円程度を目安）
- ・花苗等の配布は春と秋の2回行う。

【花苗の種類】

春：ポーチュラカ、マリーゴールド、サルビア、ベゴニア、トレニアなど



秋：パンジー、ビオラ、ナデシコ、ノースポール、キンセンカ、デージーなど



(花壇型)



- ・場所が固定される（移動不可）
- ・花の維持管理は比較的容易

(フラワーポット型)



- ・場所の移動が可能（イベント時等）
- ・夏場の管理が大変。（常時水やり）

【活動の様子（佐賀市北川副地区）】



【参考】他都市の事例

○大阪市（種から育てる地域の花づくり事業）

●内 容

市民の皆さんが自分たちの手で種から花を育て、その花をまちなかの公園、道路、区役所、学校、幼稚園、保育所などに植えることで、きれいな暮らしやすいまちにし、愛着を深めながら自主的なまちづくりへの参加意識を高め、潤いのある美しいまちづくりを進めていこうとする運動。



○宇都宮市（宇都宮餃子祭り）

●内 容

中心市街地にある道路空間等（幅員18m）を活用し、宇都宮の魅力として定着した餃子をテーマにした「餃子祭り」を開催し、地元のPR及び観光客の誘致、中心市街地の活性化を図る事業



○山梨県大月市（大ツキ軽トラ市）

●内 容

国道20号線大月駅前交差点から大月市役所前までの約350mの間に、軽トラックの模擬店による市場を配置し、野菜・果物・加工食品・工芸品等の大月市ならではの地域資源を生かしたものを販売する。

